

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 紀之川中学校
作成日	令和 3年 3月 3日

学校教育目標 あなたがいてよかったと言われる人になろう
めざす生徒像
自ら求める生徒(主体性を育む) 自ら省みる生徒(連帯性を育む) 自ら創る生徒(創造性を育む)
の育成をめざす

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○授業がよくわかる 80% ○授業改善 (目標・振り返り) 95%	○学校が楽しい 95% ○いじめを許さない95%	○朝食を毎日食べる 95%	○連携回数 3回以上
意見 重点 目標 に対する	・目標は適切である ・学校として学力の課題を明確にすることは適切 ・学習の継続性等を考えると、小学校との連携を今まで以上に取っていく必要がある。	・目標は適切である。もし、追加するなら、情報モラル、特にネットトラブルへの理解推進はどうかと思います。	・目標は適切である ・特に紀之川中学校は部活が熱心で、ここでの活躍は仲間づくりにも学校への誇りにもつながることと思います。また、保護者理解も一層進むことでしよう。頑張ってもらいたい。	・目標は適切である ・特に長年続いている事業はこれからも大切につないでいってほしいと思います。
意見 取組 状況 に対する	・授業がよく分かるの項目に対し、8割近い児童が満足できているのは、先生方の日頃の愛情ある取組の賜物だと思います。 ・主体的…の授業改善は全体での共通理解が必要です。効果が実感できれば自然とその流れになっていくと思います。	・道徳は学年が変わっても、話し合いを中心とした学習が必要で、研究授業などで互いに理想の授業の形を追い求めるような機会が必要だと思います。 ・朝の挨拶運動は生徒の様子を観察できてよいと思う。	・感染症対策は過剰にならないことが長続きの秘訣です。バランスが難しいと感じています。部活動や体育行事等、体力向上に努力されていることがよく伝わってきます。	・集まることができないというのは大変苦労されたことと思います。コロナ禍にあってもできる範囲を検討し、実施していくことが今後の課題になると思います。 ・学校の活動がわかるような手立て(たよりの発行など)を考えてほしい。
に取組 対する 適切 さの 検証 結果	・まずは落ち着いた学習環境がないか…と思います。でも、こればかり追求めると授業の質が…というジレンマに陥ってしまいます。 ・授業風景はここ数年落ち着いてきている。	・アンケートを定期的にとり心の奥に隠してあることをつかむ取組は今後も続ける。 ・道徳は全員が扱う教科なので、研究授業として取り組み、教師の共通理解を促進できます。 ・挨拶の習慣がついてきていることはよいこと。	・朝食をとらないで登校する生徒に対し、何らかの対応や取組が必要になってくるかもしれません。保護者への理解促進、デリバリー給食、こども食堂… ・生活リズムの確立のため、家庭に対する啓発を考えていってほしい。	・活動の根本になるのが、教育目標。「あなたがいてよかった…」このことを生徒に問いかけ、目的意識をもって活動に参加させたいですね。また、少々の苦労をとともう方が達成感もあっていいでしょうね。
意見 改善 年度 方法 に 向 け て る の	生徒にとっておもしろい、やってみたくなる授業ってどんなの?ということを職員で話し合う機会や雰囲気があればいいなと思います。特に若い先生が増えてくる中で、先生たちで盛り上がってくれたらなと思っています。	・適切である ・いじめのない学校を目指して取組んでほしい。 ・コロナ禍にありますが、討論する道徳、本音で話し合える道徳を目指してください。	・適切である ・引き続き、マラソン大会や部活動しっかり頑張ってもらいたい ・基本的生活習慣の確立は中学生の場合、家庭との連携しか手はないように感じます。	ホームページの更新はどこの学校も頭を抱えるところで、定期的に更新しないと見てくれなくなます。分業しながら進めていってはどうでしょう。

3 その他のご意見

・学校の部活動などの成果・様子がわかるような「学校のたより」があるとうれしい。
・紀之川中学校は昔からの地域との交流機会があり、それを大切にされています。生徒に地域で役に立てる実感を持たせ、「あなたがいてよかったと言われる人」に育てていってほしいと思います。